

ABU賞 NHKの3作品が受賞！

ABU（アジア太平洋放送連合）加盟の放送機関が制作したテレビ・ラジオ番組の中で優れた作品に贈られるABU賞の授賞式が7日、北京で行われました。今年はテレビ・ラジオあわせて13部門に59機関から211作品の応募があり、最終ノミネートされた50作品の中から、NHKが制作した以下の3つの作品が、部門最優秀賞に当たる「ABU賞」を受賞しました。

テレビ

【ドラマ部門】

土曜ドラマ 氷壁 第2回「生死を賭けた挑戦」

18年1月21日放送（総合）58分

山岳小説の傑作として名高い井上靖の小説「氷壁」（昭和31年）を原案とする全6回シリーズのドラマ。設定を現代に置き換え、世界最難関の高峰と言われるK2の無酸素登頂に挑む二人の登山家の友情を、海外ロケと迫力のCGによるスケール感あふれる映像で描く。

奥寺と親友の北沢は、K2の山頂を目前とした巨大氷壁に挑むが、雪崩により北沢が骨折。奥寺は標高8000メートルからの生還を試みる。しかし北沢は滑落死してしまい、帰国した奥寺の口から事故の原因が明かされ、記者会見会場は騒然となる。

【ニュース番組部門】

NHKスペシャル「ひとり 団地の一室で」

17年9月24日放送（総合）52分

千葉県松戸市にある常盤平団地。その一室で死後3か月経った男性の遺体が見つかった。男性は当時50歳。病気で職を失ったあと家族と別居し、一人で暮らしていた。

今、老朽化した大規模団地で、誰にも看取られずに亡くなるいわゆる“孤独死”が相次いでいる。常盤平団地では、この3年間で21人が孤独死、しかもその半数が、40代から60代前半の男性だった。

番組では、孤独死をなんとか減らそうと住民によって立ち上げられた「孤独死予防センター」の活動を追いながら、孤独死の実情を追い、団地に凝縮された日本の現実を見つめる。

ラジオ

【ドラマ番組部門】

FMシアター「はるさんの日記」

18年1月7日放送（NHK-FM）50分

第18回銀の雫文芸賞最優秀作品を原作としたドラマ。自信家で気丈だった母、はるが認知症になった。急に会話の途中で若い頃の自分に戻ったり、買い物に出かけ行き先を忘れてたりと、症状がひどくなっていく。50歳になろうという娘のしづこにとって、いまだに一人前と認めてくれない母は、時にはきつい言葉を投げかけられ、傷つけられたりもする存在だった。そんな母が、認知症になって見せる少女のようにか弱い部分。母に認めてもらいたいと思っていた娘がいつのまにか「母」のような立場で母に接することになる。ある日しづこは母が思い悩んで綴った日記を読む。誰もが直面する老いを見つめ、人と人として理解しあっていく母と娘のふれあいを描く。

<ABU賞について>

ABU賞は、1964年、第1回ABU総会で創設が決まって以来、毎年、年次総会にあわせて審査と授賞式が行われています。今年からは部門が一部変更され、テレビ7部門（ドラマ／エンターテインメント／子ども／青少年／ニュース／ドキュメンタリー／スポーツ）、ラジオ6部門（ドラマ／インフォテインメント／子ども・青少年／ニュース／ドキュメンタリー／国際放送）の各部門の最優秀作品にそれぞれABU賞が贈られます。今回は加盟59機関から過去最多の211作品（テレビ147作品、ラジオ64作品）が出品されました。

<過去にABU賞を受賞した番組>

2005年

○ABU賞

- ・「クインテット」（テレビ：子ども青少年番組部門）
- ・FMシアター ベトナムの現代文学「戦争の悲しみ」（ラジオ：ドラマ番組部門）

○デニス・アンソニー賞

- ・「スマトラ島大地震取材」
- *最も優れたニュース取材を行ったアジアビジョン加盟放送機関に贈られる賞

2004年

○ABU賞

- ・金曜時代劇「蝉しぐれ（2）蟻のごとく」（テレビ：ドラマ番組部門）
- ・NHKスペシャル「SARSと闘った男」（テレビ：ニュース・ドキュメンタリー番組部門）
- ・NHKスペシャル「極北の大岩壁～北極圏・1200mの壁に挑む～」(テレビ：スポーツ番組部門)
- ・FMシアター「最初の教師」（ラジオ：ドラマ番組部門）

<ABUとは>

ABUは、1964年に発足したアジア太平洋地域の放送の発展を図るために協力する放送機関の連合体（2006年10月現在、52か国・地域の111放送機関が加盟）。ニュース交換（アジアビジョン）、スポーツ放送権交渉、技術情報交換、発展途上国会員への助言サービスなどを実施しています。